



2020年4月14日

各位

会社名 株式会社 ロコンド  
代表社名 代表取締役社長 田中 裕輔  
(コード番号：3558 東証マザーズ)  
問合せ先 取締役兼管理本部ディレクター 田村 淳  
(TEL：03-5465-8022)

### 通期連結業績予想数値と実績値との差異及び特別損失の計上に関するお知らせ

2020年1月14日に公表いたしました当社の2020年2月期通期連結業績予想数値と、本日公表の実績値との差異及び特別損失の計上について、下記の通りお知らせいたします。

#### 1. 業績予想数値との差異について

当期の通期連結業績予想数値と実績値との差異（2019年3月1日～2020年2月29日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益
前回発表予想（A）	百万円 8,300～8,500	百万円 △150～0	百万円 △150～0	百万円 50～200
実績値（B）	8,576	△83	△77	△256
増減額（B-A）	276～76	67～△83	73～△77	△306～△456
増減率（％）	3.3～0.9	—	—	—
（参考）前期実績 （2019年2月期）	6,711	△980	△862	△464

#### 2. 差異の理由

売上高、営業利益、経常利益についてはおおむね前回発表予想値通りとなったものの、のれんの減損損失340百万円を計上したことにより、親会社株主に帰属する当期純損失256百万円となりました。なお、のれんの減損損失等の特別損失の計上を除くと、親会社株主に帰属する当期純利益は112百万円と、前回発表予想値の範囲内となります。

#### 3. 特別損失の計上

2019年3月に株式取得にて子会社化した株式会社モバコレの取得時に発生したのれんについて、2019年6月に同社を吸収合併したことにより会員の統合、コスト構造の改善は進んだもの

の、売上については当初想定を下回ったことにより、将来の収益獲得の不確実性が高まったことから、保守的に将来の回収可能性を検討した結果、2020年2月期の決算において、のれんの減損損失として340百万円を計上することとなりました。

以上